

NIHONJINKAI a.s.b.l.

発行：広報委員会

責任者：仁佐美昭

Avenue Louise 287, Bte 3,

1050 Bruxelles, Belgium

TEL: +32 (0)2-647 38 39

e-mail : jimukyoku@nihonjinkai.be

URL : www.nihonjinkai.be

Bimonthly Bulletin of the Japanese Association

No. 408 March 2023

ONLINE

日本人会会報



「クラシック音楽をもっと楽しもう会」演奏の様子。Brussels Chamber Orchestra みなさん。

目次

- 2 欧州と日本の奥深い距離感
山崎 琢矢
- 6 クラシック音楽をもっと楽しもう会
文化委員会音楽部
- 8 西欧絵画の楽しみ方 94
「メデューズ号の筏」ジェリコー、ルーヴル美術館
森 耕治
- 13 ベルギーのありふれた生活 3
シーボルトのハマメリス
藤野 ユミリ
- 16 告知板
- 17 今、学校では 会員限定
ブラッセル日本人学校
- 19 会員異動 会員限定
- 20 2022 年度ベルギー日本人会第 3 回理事会議事録
(1月17日開催) 会員限定
- 31 編集後記

3月号

欧州と日本の奥深い距離感

日本貿易振興機構（JETRO）ブリュッセル事務所
山崎 琢矢

（はじめに）

日本人会会員の皆さん、こんにちは。日本貿易振興機構（JETRO）ブリュッセル事務所の山崎です。日本人会では商工委員会にて、主にビジネスセミナーの開催などを担わせていただいています。

JETRO は日本企業の海外におけるビジネス、さらには海外企業の日本への投資を支援することを仕事としています。ブリュッセル事務所の管轄国はベルギーとルクセンブルクです。また、欧州連合（EU）の本部機能が軒を連ねるブリュッセルという立地を生かし、欧州委員会などとのネットワークを形成しながら、EU が出す新しい政策や規制を追いかけ、皆様に情報提供するとともに、日本と欧州が連携を深めるための両政府間の枠組み形成などをサポートしています。

私は 2020 年 8 月末にベルギーに赴任してきました。その当時、日本では「ベルギーはコロナの死者数が世界一多い」といった情報が独り歩きし、周囲は危険な国への赴任で大変だという雰囲気。羽田空港は閑散とし、フランクフルト経由の便も乗客は数えるほどという異常な状況で、正直言って、何の高揚感もなくブリュッセルに降り立ったものでした。しかし、到着し、隔離ホテルにチェックインした時、日本と違った何とも言えない開放的雰囲気が流れていたことを鮮明に覚えています。本当に来てみないと分からないものだ。

これは、ベルギーと日本、欧州と日本ということ

に限らず、どんな国との間にある「距離感」だとは思いますが、その後、ここブリュッセルで仕事柄、少しでも多く、日本と欧州の連携を深める案件を作りたいという気持ちで仕事をしていると、「欧州と日本との距離感」とは、意外に奥深いものだなと思うようになりました。以下、少し私見を記してみたいと思いますが、これは個人個人間の交流というよりは、むしろビジネスや政府間の関係を見ている視点からのものだということで、ご理解いただければ幸いです。

（欧州と日本が元々持つそれぞれの「距離感」）

まず、欧州から日本の見方。日本とは、米国とは結べていない自由貿易協定（EPA）を締結し、個人情報取り扱い（GDPR）についての十分性認定を結んでいる数少ない国だということで、欧州の政治筋の中では日本は元々、唯一無二の「有志国（like-minded country）」だという意識があります。これがロシアによるウクライナ侵攻、これに対する共同制裁などを経て、昨今はさらに日本への有志国感が強まっている感じがします。そういう意味では、政治的にはかつてないほど日欧関係は緊密であると言えます。一方で、長所短所も併せもって、日本のことを知っている、いわゆる知日派の政治家や官僚などが少ない感があります。私がよく接する欧州委員会の日本担当部局の名前は「極東課（Far East）」です。この名前に象徴されるように、やはり距離的に非常に遠い国、しかしながら、素晴らしいイメージのある国、言ってみればマルコ・ポーロの「黄金の島ジパング」のような感覚を持っている人が多いよ

無料相談
実施中！

www.infi2.com
sales@infi2.com
02 644 44 77



INFINITYのクラウド
ERPシステム

すべて実現。
ひとつで、



うに思います。やはり、「行ってみたら、実はそこら中が黄金のわけではなかった」という、実態も含めて分かった関係でないと、いざといった時に関係が脆弱になることもあります。欧州から日本にはこのような「距離感」があるように思います。

では、日本から欧州の見方。個人のレベルでは、旅行先、住んでみたいところとして、欧州は人気があります。しかしながら、在欧の日本企業の方々からは、「欧州の重要性について、日本の本社の理解を得るのに苦労する」という声、さらには「米国に比べると、欧州は複雑な規制などが多く、ビジネスが難しい」という声をよく聞きます。昨今、欧州委員会では、特に 2019 年末からフォン・デア・ライエン政権になってから、脱炭素・グリーンの推進が欧州における「一丁目一番地」になっているわけですが、「欧州はグリーン至上主義ではないか」という日本側の声もよく聞きます。要は、日本から見ると、特にビジネスの世界では、欧州は観念論が先に出ているような感じを受ける「距離感」があるように思います。

(コロナで働いた遠心力と戻ってきた振り子)

往來があったコロナ前は、それでもこの「距離感」はマネージできていたわけですが、コロナ後、日本と欧州のこの「距離感」がお互い助長しあい、遠心力が強まった感があります。2 年半にわたりほとんど往來が途絶えたことも大きく影響し、欧州側は日本のイメージだけがどんどん膨らみ、日本側では欧州は「グリーン至上主義」だけで走っているのではないかという疑念が高まるという形で。

私の前任の頃などは、毎週誰かが、または多い時には週 2-3 組の日本からの出張者が来ていたと聞き

ましたが、私が着任してから 1 年半、昨年 3 月末まで、出張者はたったの 1 人でした。オンラインでミーティングはしていますし、必要最低限のコミュニケーションはしているわけですが、オンラインではその 1 時間は真剣に向き合いますが、すぐお互い違う世界に戻り、24 時間その地にどっぷりと浸かることができない。やはり元々持つ「距離感」が広まっていく傾向にあったのだと思います。

しかしながら、欧州側のコロナ規制が緩和された昨年春ごろから、日本からの往來が増えてきました。特に 9 月に日本側の水際規制（出国前の PCR）が大幅に緩和されてからは、日本からの往來はさらに増え、欧州から日本に行く人々も出てきました。まだ数か月ですが、日本の実像を理解してきた欧州の人、そして、欧州の動きを単に観念的と切り捨てるのではなく、実際に動いているビジネスの動きを実感する日本の人が格段に増えている感じがします。

それぞれの持つ「距離感」は完全には治癒しないものの、ようやく振り子が戻ってきた、これからが楽しみです。JETRO としても、日本人会会員企業の皆様が欧州との「距離感」を縮めるための支援を色々やっていきますので、何なりとお問い合わせいただければと思います。

(最後に)

ちょうどこの原稿を執筆している 2 月中旬、いわゆる「スキー休暇」というものがやってくるので一言。

私は 10 年ほど前から下手の横好きでスキーを始め、現在の最大の趣味はスキーです。赴任前は、冬になると暇を見つけては 1 泊 2 日、または日帰り、

【ヘアサロン】

Tamaki
ヘアサロン



120 Rue kelle, 1150 Bruxelles
TEL: 0490.11.9026
火～土:10h-20h (19h-20h予約のみ)
(月曜・日曜・祝祭日休み)



お弁当予約注文・ヘアサロン予約

詳しくは創和ホームページへ⇒

【食料品・持ち帰り弁当】

けんちゃん



120 Rue kelle, 1150 Bruxelles
TEL&FAX: 02.771.7224
火～金:10h-18h / 土:10h-19h
(月曜・日曜・祝祭日休み)

【食料品・持ち帰り弁当】

はるちゃん



17 Rue des begonias, 1170 Bruxelles
TEL&FAX: 02.660.0666
火～金:10h-18h / 土:10h-19h
(月曜・日曜・祝祭日休み)

<http://sowatrading.be>

日本のスキー場に出かけて行っていました。こちらに来て、やはりアルプスでスキーをしたいと思っていたのですが、最初の年 2020 年は国境が閉まっていたこともあり、あえなく断念。ただ、昨シーズンと今シーズンは年末のクリスマス休暇を活用して、オーストリアのイシュグルとフランスのティニュにそれぞれ足を運びました。車で行くわけですが、渋滞がなければ数時間でスキー場にたどり着ける日本と違って、ブリュッセルからだとそれぞれ 1000 キロ弱の行程です。途中の街で一泊して、前後 2 日かかりで移動です。

それでも現地で 6 日間丸ごと滑れる。宿泊先も 1 週間単位で出しているところが多く、1 泊 2 日に慣れている身からすると、飽きるのではないかと当初は不安でしたが、規模もけた違いに大きく、むしろ両スキー場とも 1 週間では全部を滑り切れない大きさ。何とも言えない違いと感動を覚えました。リフトも 6 人乗りが当たり前、8 人乗りまである、フカフカのシートだったりして、スキーの本場との彼我の差を見せつけられました。会員の皆様の中には達人もおられると思いますが、こうして 1 週間丸ごと、ヨーロッパアルプスでスキーをできる、こうしたことを文化として持っている欧州というのは深みがある、この「距離感」はぜひ埋めたいと痛感する次第です。



日本貿易振興機構 (JETRO) ブリュッセル事務所
山崎 琢矢

クラシック音楽をもっと楽しもう会

文化委員会
音楽部長 東 昭光

2月3日（金）、ブラッセル日本人学校にて『クラシック音楽をもっと楽しもう会』を3年ぶりに開催することができました。

今回は、Brussels Chamber Orchestra をお招きし、約140名の方々にお集まり頂き過去最大規模の開催となりました。

日頃、演奏を間近で聞くことが少ないなか、1時間にわたりモーツァルトやバッハ作の曲等を演奏して頂きました。

コロナ禍でライブ演奏に足が遠のいていたなか、久しぶりの生の演奏はひとしおで、曲目の間には大きな拍手があがり。参加頂いたお子様の中には自分も弦楽器を始めてみたいというお声もあがり、大変有意義な場になりました。

出演者 Brussels Chamber Orchestra

ヴァイオリン

- 川村 奈菜 - 東 珠子
- David Wlodarczyk - 長瀬 大観

ビオラ

- Monika Mlynarczyk

チェロ

- Mario Villuendas

コントラバス

- Jose Vilaplana Herruzo

音楽部としましては、今後も当会を開催させて頂き、クラシック音楽を通じ日本人会会員の皆様にヨーロッパの文化を身近に感じて頂く機会を設けることで有意義なベルギー生活につながればと考えております。

また、会員の皆様におかれましては公演頂いた Brussels Chamber Orchestra のメンバーの方々が日頃、活躍されているモネ劇場に足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

最後に、当音楽会の開催にあたり協力頂いた日本人学校の教職員の皆様、誠にありがとうございました。

引き続き、支援の程、宜しくお願い致します。

プログラム

- 1.W.A.Mozart : Divertimento in B KV137
-Andante -Allegro di molto -Allegro assai
- 2.Tchaikovsky : Melody op 42
-Violin Nana Kawamura
- 3.W.A.Mozart : Divertimento in D KV136
-Allegro
- 4.J.S.Bach : Arioso
-Cello Mario Villuenda
- 5.Tomás Bretón : Jota de la doroles
- 6.W.A.Mozart : Divertimento in F KV 138
-Allegro -Andante -presto



クラシック音楽をもっと楽しもう会

日時：2023年2月3日（金）18：30～19：30

会場：ブラッセル日本人学校

主催：ベルギー日本人会文化委員会音楽部

（幹事： アイシンヨーロッパ）

Brussels Chamber Orchestra について

1999 年、ヴァイオリニストの川村奈菜とチェリストの Mario Villuendas により創設された、弦楽器のみで構成された室内楽（チェンバー）オーケストラである。国際色豊かな音楽家が集まり、クラシック音楽を中心に完成度の高い楽曲構成と演目で演奏活動を続けてきた、ユニークなオーケストラである。

創設以来、数々の著名な演奏家との共演を果たし、中にはイブリー・ギトリス、イゴール・オイストラフ、ワディム・レーピン、ボリス・ベレゾフスキー、成田達輝、カーミーユ・トマ、アレクセイ・セメネンコ、マイケル・グッドマン等、日本でも知られた演奏家も多く含まれる。世界各地で招待を受け、ヨーロッパに加え、ウクライナ、中国、台湾、日本、アメリカ、でもツアーを行った。

また、イタリア、ピエトラサンタの音楽祭には 2007 年より毎夏出演を果たしている。

2008 年～2011 年にはアメリカのノースカロライナにて、BCO の音楽祭を開催。

2014 年より、ブリュッセルのプロテスタント・チャーチにて BCO 定期演奏会を実施。

2016 年より、メニューイン財団とパートナーシップを提携。

2023 年より、BCO の定期演奏会の再開と、BCO Kids(子供のためのオーケストラコース およびコンサート) の開催予定。



西欧絵画の楽しみ方 94

「メデュース号の筏」 1818-1819 ジェリコー、ルーヴル美術館

ベルギー王立美術館公認解説者
森 耕治



メデュース号の筏

これはルーヴル美術館の目玉の一つである、テオドール・ジェリコー作「メデュース号の筏」です。復古王政が始まった翌年の1816年に、フランス海軍フリゲート艦メデュース号が、アフリカ北西部のモーリタニア沖合で座礁し、その時に、筏に取り残された149人のうち、わずか15人だけが12日後に洋上で発見されたという史実に基づいています。この作品によって、ジェリコーは美しく調和がとれた理想美を前提条件とする新古典主義に挑戦状をたたきつけ、フランスのロマン主義絵画が始まったといっても過言ではないでしょう。

「メデュース号の筏」に象徴的に表される様に、フランス・ロマン主義絵画は、1830年の7月革命までは、シェークスピア的な、己または他人の死と引き換えに自由と愛を手に入れるという悲壮な美意識と、当時の復古王政への批判が強く感じられます。ジェリコーの親友だったドラクロワが、7月革



民衆を率いる自由の女神

命におけるバリケード戦をテーマにした「民衆を率いる自由の女神」を制作して、ロマン主義を確固たる絵画の潮流としたのは、歴史的な必然性であったと言えます。

この作品は、1819年にルーヴルで開催されたサロン（官展）に出展されて、賛否両論に分かれる物議をかもしました。同じサロンには、新古典主義の巨匠アングルの代表作「大オダリスク」も出展されました。当時のルーヴル美術館の館長フォルバン伯爵は、ジェリコーの大作が復古王政への批判に発展することを恐れて、「難破のシーン」という当たり障りのないタイトルにした上、天井に近い場所に展示しました。

結局、ジェリコーに金メダルが審査員から与えられたものの、国から買い上げられたのは、彼の死後10ヶ月後の1824年11月でした。当時の慣習では、サロンで金メダルを獲得した作品は、その場

人事のことなら

インフィニティ

スポット人材派遣サービス
始めました!

IR INFINITY
RECRUITMENT

転職をご検討中の方
人材をお探しの企業様

お問い合わせは日本語でお気軽に

✉ info@infi-r.com ④ www.INFI-R.com ☎ 02 356 9886

🏠 Chaussée de Vleurgat 119, 1000 Brussels

で国の買い上げになるはずでした。時代を先取りした作品は、いつの時代でも簡単には世間に認められないものです。

メデューズ号遭難のエピソード

この絵の理解には、まずメデューズ号遭難のエピソードが何なのか知る必要があります。まずこの大作が制作されたのは、ナポレオンがワーテルローの戦いで敗れてから4年後、ルイ18世による王政復古の最中でした。フランスは、ナポレオンが占領したヨーロッパの国々を失ったものの、それ以前に植民地化したアフリカ諸国は、そのままフランスの領土として温存されるか、いったん英国に占領された後、パリ条約によって返還されました。その英国からフランスに返還された国の中に、現在のセネガルがありました。現在でもセネガルの公用語が仏語なのは、そんな経緯があります。

新たにフランス領となったセネガルの総督に任命されたジュリアン・シュマルツ大佐とその家族、兵士に科学者たち、総勢400人が3本マストのフリゲート艦「メデューズ号」に乗りこみました。この絵のタイトルとなった船です。そして、その船を指揮していたのは、20年以上もの亡命生活から帰ってきたばかりで、亡命生活中は船に乗ったこともなかった、ユグ・デュロワ・ドゥ・ショーマレイという経験不足の子爵でした。

その「メデューズ号」は、1816年6月17日、他の軍艦3隻に伴われて、計4隻からなる小艦隊を編成してセネガルのサン・ルイへ向かいました。しかし、7月2日、ドゥ・ショーマレイ船長は、他の三隻の先頭に立とうとして、予定していた航路を外れて艦隊から離脱し、モーリタニ沿岸で座礁してしまいました。

3日後の7月5日、7隻しかなかったボートに船長のショーマレイ子爵と総督の家族、その他の者計233人が乗り込み陸地を目指して脱出しました。しかし、それに溢れてしまった149人が、急ごしらえの20メートル17メートルの筏に乗せられました。また17人は座礁したままの船に残留しました。

最初、筏はボートに引っ張られていたのですが、149人も人間が乗った筏をボートが引っ張るの

は無理でした。直ぐにショーマレイ子爵は筏を引っ張ることを放棄して、つないでいたロープを切ってしまいました。でも、筏には最初からほとんど食料はなく、たった樽2個の水とワイン樽が6個しかありませんでした。これは、筏上の者たちへの死刑宣告と同じでした。さらに水樽2個は、パニックに陥った者たちが海に落としてしまいました。

それから12日間、メデューズ号の筏の生存者たちは、殺し合い、死んだ仲間の人肉を食べ、死体を海に捨て、筏上に残ったのは149人中15人だけでした。その15人は、メデューズ号と艦隊を組んでいた3隻のうちの一隻「アルグ号」に偶然発見されました。しかも、生存者15人のうち5人は、救助直後にアルグ号の船上で死亡しました。

一方、座礁したメデューズ号は、42日後に英国船に発見されましたが、船に残った17人のうち、たった3人だけが生き残っていました。

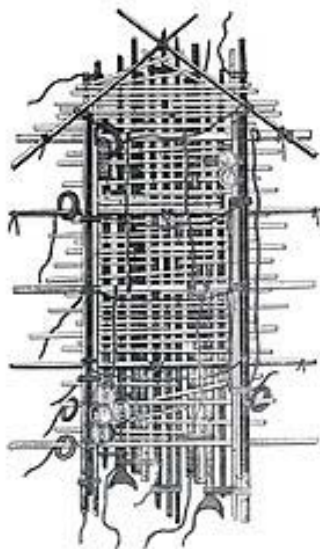
メデューズ号の筏の悲劇は、二人の生存者によって翌年1817年11月には発表されて世間を驚かせました。仲間の人肉を食べて生き延びたという極限状態での出来事が世間の関心を引いただけでなく、王政復古下で、20年以上も船に乗ったことのなかった元亡命貴族が、政府とのコネだけで船長となって、大量の犠牲者を生んだ馬鹿さ加減も人々の怒りを買ったのです。

その上当時の議会は、間接選挙によって王統派穏健派が辛うじて過半数を維持していたとはいえ、王党急進派、左派、自由主義者たちがしのぎを削っていました。その上、共和主義者や帝政期のノスタルジーを捨てきれない人たちが、世の中には大勢いました。その様な不安定な状況下で、元亡命貴族によって引き起こされた惨劇(そもそも船長が乗組員を見捨てて逃げることで体が許されない)が、ルイ18世の復古王政への批判となったことは当然でした。

イタリア留学から帰ったばかりのジェリコーは、1817年に、二人の生存者によって発表された本によってこの悲劇を知り、大作の制作を思いつきました。

画面概説

ジェリコーは1818年ほぼ丸一年かけて大作制作の準備を進めました。その間、3人の生存者に会って体験談を聞き、特にメデューズ号の船大工



筏の構造図

だったラヴィエットから筏の構造について聞きだして、筏の縮小モデルさえ作り上げました。さらにノルマンディーのル・アーヴル港まで出かけて海と空を観察して、親友のドラクロワや他の友人に頼んで生存者のポーズを取らせました。

更に、死体をリアルに描くために、クリシーのボージョン病院の死体安置所にも出かけて、ギロチンで処刑された男の首や、死体の腕や足をスケッチしました。この様な徹底した準備と習作の蓄積によって、非常にリアルな作品作りが可能となりました。



2 番目の習作

そして1818年の暮から翌年にかけて完成させた大作を2枚目の習作と比較するなら、大まかな構図は同じですが、画面前面にはみ出すまで筏を伸ばして、半裸の死者一人を大きく描き加えることで、迫力のある臨場感が増し、効果的な遠近感が生み出されています。その結果、筏上には実際の生存者15人より一人多くの人間が描かれることになりましたが、これは、筏上に放置されていた死者も描かれたと考えれば辻つまが合います。また、完成作では、曇り空にもかかわらず、水平線の上の部分だけは輝いていて、画面に奥行きを出すだけでなく、見るものに希望の光が差した印象を与えるのに役立っています。



アルグ号の船影

画面右上の水平線上に、突然現れた軍艦「アルグ号」の船陰が見えます。まだアググ号は筏の存在に気づいていないようですが、生存者の絶望が希望に変わった瞬間です。実際には、この時、アルグ号は筏を発見できず、いったん船陰は水平線上から消えたのですが、幸い2時間後に再び現れたアルグ号によって筏は発見されて、生存者は救助されました。

もう一度画面に注目してください。風は右から強く吹き付けています。また筏の背後の波は大きくうねっているのに、筏が浮かんでいる場所だけは波が静かです。筏上の人物群は左右で二つのピラミッド状に積み重ねられています。ピラミッドの頂点の部分では、黒人男性が赤い布きれを振っています。そ

グローバルネットワークでお客様の 引越 / 輸送ビジネスをサポート

- ・日本人立会い
- ・ハウスクリーニング
- ・不用品回収
- ・お譲り品のお届け



N X ベルギー株式会社(旧:ベルギー-日本通運)
NIPPON EXPRESS (BELGIUM) N.V./S.A.

TEL : +32 (0)2-751-7814/15

NEBE-removal@nipponexpress.com

<https://www.nipponexpress.com/moving/be/>



アルグ号発見に
希望を見出す人々

のすぐ右下では、別の男性がワイン樽に上半身をのせて、残った力を振りしきって白い布を振っています。他の者たちも船陰に向かって手を差し伸べています。黒人の右側では、男が振り返って「船が見える」と叫んでいるところです。当然観客の視線は水平線上のアルグ号に誘導されることでしょう。

その反対に、左のピラミッドは、筏のマストを頂点として、下にはうつ伏せになって死んだ男が見えます。この男は親友で、後のロマン主義の巨匠ドラクロワがモデルを務めたというのが通説です。左端のおおむけの死者。そして二人の死者の間には、若い男の死体を膝に抱いて悲しみに浸る初老の男の姿が見えます。この初老の男は、アルグ号の船陰によってもたらされた希望など、もはや関心がないかのように、背中を向けて無言のままです。

画面上では、今観察したように、波の動と静、明暗の対比、絶望と希望といった、相反する要素を巧みに組み合わせることで、見るものに感動を呼び起こす劇的表現に成功しました。これは、明暗の強いコントラストを毛嫌いし、左右均衡を美の規範としたダヴィッド流の正統派新古典主義とは、根本的に異なる画風です。

ところで蛇足かもしれませんが、左端で初老の男性に抱かれた若者の死体に注目してください。裸なのに靴下をはいたままです。この靴下の死者の姿は、親友のドラクロワが、11年後、彼の代表作「民衆を導く自由の女神」を描いた際に、画面中央に横たわる戦死者の姿に応用しました。ジェリコーのドラクロワへの影響を知るうえで興味深い点です。



死者を抱き悲しみに浸る男

赤い布きれを振る黒人は奴隷解放の象徴？

赤い布きれを振ってアルグ号に合図を送る黒人は、奴隷解放の象徴というのが定説になっています。

フランスでは1792年4月2日に立法国民議会が奴隷解放令を可決しました。しかし、海外植民地での奴隷制度と奴隷貿易は温存され、奴隷貿易が禁止されたのは1815年のナポレオンの百日天下の時でした。ところが、ナポレオンの失脚後、復古王政下のルイ18世は、海外植民地での奴隷制度を抜本的に廃止しようとはしませんでした。その海外奴隷貿易の拠点の一つが、メデューズ号が目指したセネガルのサン・ルイ港でした。結局、海外での奴隷制度の廃止は、1848年4月27日の政令まで待たざるを得ませんでした。

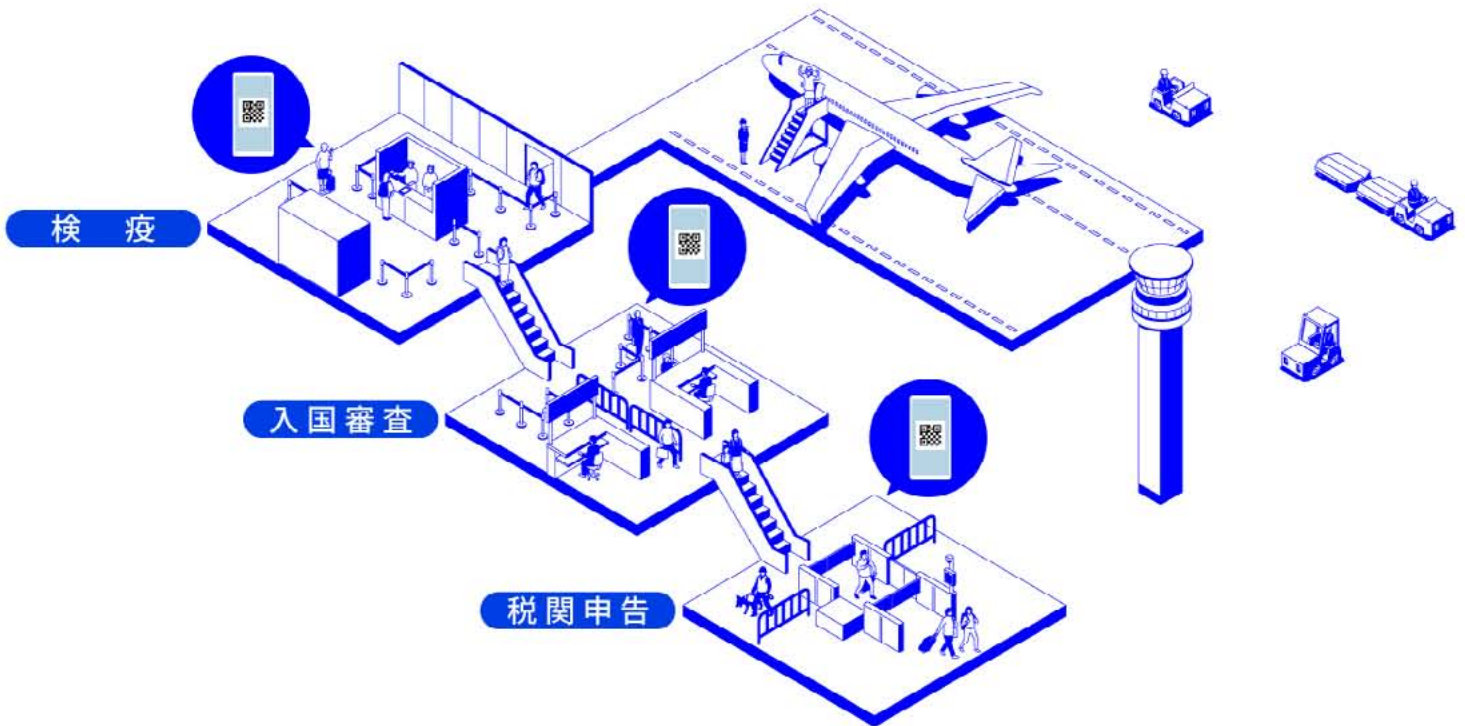
冒頭部分で述べた、7月革命以前のロマン主義の美意識「己または他人の死を代償に、自由と愛を手に入れる」を思い出してください。ジェリコーは、極限下での人間の絶望と希望、そして仲間の死体をも食べて生き延びた壮絶な生への戦いを、画面上に描き出しました。またアルグ号に布きれを振って合図を送る黒人の姿は、やがて自由を勝ち取るであろう、仏植民地の黒人奴隷たちの未来を暗示したものと いえます。

政府からのお知らせ

日本へ入国される方へ

Visit Japan Web

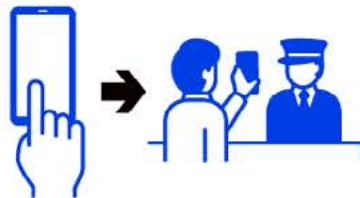
入国手続オンラインサービス



MySOSアプリやウェブ版で提供していた「検疫（ファストトラック）」機能が、Visit Japan Webに移行しました。

ファストトラックとは？

入国前に証明書などを登録し、空港では画面を見せるだけで手続きがスムーズにすみます。



操作方法等の詳細はこちら
<https://vjw-lp.digital.go.jp/>

Visit Japan Web とは

入国手続き「検疫」、「入国審査」、「税関申告」をウェブで行うことができるサービスです。海外から入国される方のほか、日本に帰国される方もご利用頂くことができます。

ベルギーのありふれた生活 3

シーボルトのハマメリス

ベルギー文庫
藤野ユミリ

前号表紙を飾った日本語スピーチ大会で見事優勝されたマリアンナさん。昨年の夏の終わり Arboretum Kalmthout (カルムトホウト植物園) を訪れて句作をした経験をお話されてましたが、実はアタシも同じ日同じグループにいて同じガイドさんの解説を聞いてたんです。私たちが参加したのは日本文化を通じた交流に熱心なブリュッセルのグループ「WA」が主催した遠足で、この植物園にはかのシーボルトが日本から持ち帰った豊富な植物コレクションが有るんですよ、という触れ込みだったことに心惹かれ、去りゆく夏の名残りを惜しみつつ緑浴とお喋りを大いに満喫してきました。

その時われらがガイド女史がことさら熱心に語っていたハマメリス (Hamamelis) なる植物があって、「これは今の季節でこそ葉と枝だけでなんの変哲もないように見えるでしょうが、でも1月2月にもう一度いらしてみてください。いやもう、ビックリしますよ、冬の庭園を赤や黄色で彩る、まあそれはこの辺じゃめったに見られない景観なんです、その花ビラといえは細く長くツボミから弾き出たら縮れていたものが伸び出て、それがひと枝にいくつもスズナリになり、日本ではもちろん珍しくないんですが、ヨーロッパ広しといえども当園のハマメリスの種類と数の右に出るところはどこにもありません！」…アタシ的にはこんな感じの力説ぶりでした。で、それこそなんの変哲もない花のない木を見せられて、日本では珍しくないんですがと言われ、そこに居合わせた日本人たち「一体ハマメリスって何だろう？」とはてな顔を見合わせつ

つ、各自ググる。「Hamamelis」＝「マンサク」。へえ～ふ～んそうなんだ、みたいな安堵をまじえながら再びツアーは続く……ただひとり納得できてないアタシを残して。だってだって道産子の身にしたら「マンサク」とは「福寿草」のことで、別名「雪割草」、春まだ遠い3月下旬の北海道帯広市の中途半端に寒い頃、黄色の花を、木にはではなく地面に咲かず、またそんなメデューサの髪の毛みたいじゃなくて、マーガレットを全体黄色く小さくしたような花なのである。春に先駆けて「まんずさく」花「マンサク」。六花亭の銘菓桃山「万作」の包みにはまさにこの花が描かれてるでしょうがっ！ そう隣を歩く京都出身、福岡出身の二人をつかまえてこんこんと訴えてみる。へえ～ふ～んそうなんだ、みたいにスルーされてさりげにツアーは続いていった。



新入園児募集

私立ブラッセル日本人幼稚園

令和5年度
願書受付中!



詳しくはこちら↓

www.brusselsyouchien.org

☎ 027420955

✉ info@brusselsyouchien.org

受付時間: 月～金 (9～16)時
水のみ (9～12)時

1日体験入園
受付中

3月13～17日
ご連絡ください♡






で、今回冬を待って再び行って参りました、Kalmthout の植物園。ときまさに「ハマメリス祭 Hamamelis Festival」の真っ只中。1 月下旬の日曜の昼下がり、零下 2 度の寒さもなんのその、ぶくぶくに着込んだ鑑賞ツアー客でいっぱいだったのにはびっくり。あの日のガイドさんの話はまんざら誇張ではなく、曇天の冬枯れた庭園のあちらこちらに慎ましく、しかも小さいなりに複雑な構造をしているもんだから自ずと私たちの目と鼻をグッと引き寄せ、そんなチャーミングなハマメリスたちが佇んでおりました。他にも真っ直ぐど太いヒノキやバリエーション豊かなマツ、ネコヤナギ、ヒヤシンス、ヘレボルス、沈丁花（のようなもの）、枝垂れ小梅などなど。あたたかい季節になればアジサイやギボウシ、ボケの花など当園自慢の花々が続くんだそう。ガイド氏（オランダ語）たちの発する「ヤパン」だの「ジャポニカ」だのを聞いたたび、あ、これが例のシーボルトゆかりの代物なのかしらんと感慨もひとしお。

さてそのシーボルト先生（1796 - 1866）、日本の鎖国時代に長崎・出島のオランダ商館で医者とし

て名を馳せた彼の足跡は歴史的に有名で、いわゆるシーボルト事件（1829）で日本から追放され、その後ヨーロッパに戻ってからは日本学の基礎・発展に大いに貢献、日本人妻との間にできた子どもは日本の女医第一号で……などの数々の逸話については、今更言うまでもないでしょう。ただ、なぜに彼の植物コレクションがここ Kalmthout にあるんだろう。そう思って聞いたり調べたりしてったら、見えて来たんだな、歴史の皮肉が。

じつは、シーボルトが命からがら日本を追われてオランダ商船に乗って戻ってきたその港が当時はオランダだった独立革命前夜のアントワープだったんです。やがてベルギーが蜂起して独立を勝ち取ると（1830）、オランダ所有のものは当然没収。シーボルトが 6 年間日本で集めに集め、とるものとりあえず必死に抱えてきた世にも珍しいジャパン・コレクション、とりわけ膨大なる植物コレクションはあわや新興国ベルギーによる預かり処分となってしまった。今や花の祭典で知られる Gent だが、当時から Gent 大学は植物学の権威として知られており、それゆえシーボルト本人も持ち帰って生の標本抱えて

速攻ここに託してしまっていた、というのがまた運の尽き。革命で棚ぼたの僥倖を得たゲント大学近辺の苗木業者たちは、ジパングからやって来たエキゾチックな花を大いに商売にしてやがて巨万の富を築いたというから笑いが止まらない。しかもヤラシイのが、その約 10 年後、「でもなんかシーボルトさんに悪いことしちゃったなあ」みたいな良心の呵責を感じたのでしょうかね、ゲントはシーボルトの業績に遅まきながらも栄誉を表し、彼の置いていった花全種類の末裔一株ずつを贈呈したんですと。そもそも「贈呈」って何よ、って話なんだが。

さて現在の Kalmthout の植物園の始まりは、19 世紀半ば、国力を増し世界を牽引する産業国の仲間入りを果たし、大きな所領や庭園を持つブルジョアたちがこぞって関心を示していた造園華やかなりし時代の苗木園芸業者の花畑に遡る。シーボルトとの直接の関係は知られていない。やがて大恐慌や二度の世界大戦を経てすっかり斜陽になっていたところ、1950 年代後半、ダイヤモンド商資産家夫婦の手に渡ってから、奥さんが植物学者だったこともあって本格的な植物コレクションが再開された。こうしてシーボルトが持って来たんであろうハマメリス、アジサイ、ギボウシをはじめとする多くの日本コレクションが集められ、母木から交配され、多くの種類に拡がったんだという。

ひとつ気になるのは、昨年のガイドさんはことあるごとにシーボルトに触れていたのに、先日のガイド氏は質問しても、「その人物のこと聞いたことがあるけれど、ここのジャポニカ系コレクションとの関係は知らないなあ」と、つれない返事。植物園のサイトでもシーボルト条項見当たらないし。ナゾだ。

なお、今年はシーボルトが初めて日本にやって来た 1823 年からちょうど 200 年のシーボルト・イヤーである。



UIJIN BEER 初陣

330ml, Alc 6.0%

ベルギー産酵母と手間をかけたホッピング手法により華やかでフルーティーな印象を持つビールです。大麦麦芽と小麦麦芽の絶妙なブレンドにより醸し出されたフレッシュかつ奥深い味わいをお楽しみください



UIJIN YUZU BLOND 初陣柚子ブロンド

330ml, Alc 6.5%

初陣同様にベルギー産酵母を使い、丁寧なホッピング手法で醸造された大麦麦芽100%のブロンドビールです。ホップと同時に高知県産柚子の皮の部分だけをビールに漬け込み、爽やかな苦味を引き出しています。

お買い求めは下記食品販売店でお願いします
田川 (ブルガット、ストッケル、デルタ)
Asia Supermaekrt (Rixensart) FRESHMED (Etterbeek)

商品のお問い合わせ先； info@riobrewing.jp
レストラン、量販店様のご注文は
Foodex Belgium SPRL 電話 02 721 14 21 まで

告知板

このページは、会員の皆様の情報交換の場です。

- ・各種同好会の案内、募集
- ・求人／求職
- ・同窓会の案内通知
- ・譲ります／譲られたいなど、
- ・各種イベントの案内
- ・どしどしお寄せ下さい。

200 字以内にまとめて下記宛送付下さい。

e-mail: jimukyoku@nihonjinkai.be
 *紙面の都合上、編集することもありますので、ご了承ください。

日本人会関係行事予定

日程	内容	場所
3月 9日(木)	役員連絡会	ベネルックス三井物産会議室
3月 14日(火)	2022 年度第 4 回理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
3月 18日(土)	サッカー観戦ツアー	大王わさびスタイエンススタジアム
3月 23日(木)	バロック楽器によるコンサート	St. Clément 教会
5月 8日(月)	役員連絡会	ベネルックス三井物産会議室
5月 9日(火)	2022 年度第 5 回理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
5月 13日(土)	セミナー交流会～菱田まりこ先生講演 (多文化間精神アドバイザー)	ブラッセル日本人学校
6月 14日(水)	役員連絡会	ベネルックス三井物産会議室
6月 16日(金)	2022 年度第 6 回理事会・2022 年度総会	THON Hotel Bristol Stephanie

●ベルギー・日本人カトリックコミュニティ

*「2023 年 3 月と 4 月のミサ」

日時：3月5日(日)、4月23日(日)

いずれも 13:30～14:30

場所：ブリュッセル・スクート会修道院
(Mission de Scheut) 聖堂

住所：Chaussée de Ninove 548, 1070 Bruxelles
(地下鉄 Gare de l'ouest 下車)

*「新約聖書勉強会」

ーブラザー・ジュリアーノと読む福音書ー

日時：3月と4月各1回(フェイスブックにてご確認ください)

場所：「福音の小さい兄弟会」修道院

住所：Av. Clemenceau 70, 1070 Bruxelles
(地下鉄 Clemenceau 下車)

ときに内容が変更されることがありますので、下記にて予めご確認ください。

<http://www.facebook.com/groups/592349231569301/>
nihongomisa.be@gmail.com
 長南恵子 (0486 - 775750)

●日本語を話そう会 Let's talk in Japanese!

日時：3月11日(土) 16h～17h30

要予約：hanasoukai.bru@gmail.com

<http://www.bnknihongo.be> 参加には事前予約が必要です。詳しくは HP をご覧ください。

●日本図書館 Biblio Japon ご案内

本会は、日本書籍の貸し出しを通じて、ベルギー生活を豊かに過ごすための文化活動グループです。貸し出し以外にもイベント(読書会・映写会・講演会・音楽会・遠足など)を開催します。月1回、第二あるいは第四土曜日の午後3時から5時まで開館しています。皆様、お気軽にお立ち寄りください。ご来館の際は、事前にメールでご連絡ください。時に開館日に変更することがありますので、フェイスブックでお確かめください。

連絡先：中山 bibliojapon@gmail.com
フェイスブック

www.facebook.com/groups/bibliojapon
 会場 学習教室 EDUCASAN
 Avenue Delleur 17
 1170 Bruxelles (Watermael-Boitsfort)
 トラム 8 番 Delleur 下車、St Hubert 教会裏

編集後記

今まで暖かい日が続き、暖冬のまま春の訪れを予想していましたが、ここ最近気温が氷点下に下がり、雪も降りました。植物の芽も出始めて、鳥も巣作りを始めてしまう頃だったので、本格的な冬が来て良かったと思います。ベルギーでは、朝も夜も暗く長い冬ですが、その暗い冬の間、気分を明るくするのに役立つのが様々な季節のイベントです。12月6日には、サンタクロースの元になったサンニコラ、12月25日はクリスマス、1/1は新年、1/6は「Rois mages」といわれる行事です。こちらのイベントは、生まれたばかりのイエスを見に来た3人の王様を祝い、「Galette des rois」という小さい置物が隠れたフランジパンでできたケーキを食べ、その置物に当たった人がその日の王様になるというものです。その時期になると、友達と家族とこのケーキを食べるので、毎年、何回もこのケーキを食べることになりますが、個人的にはフランジパンが好きなので、このイベントも好きな行事の一つです。その後、2月の終わりには、カーニバルがあります。毎年、子供たちの学校から指定されたテーマ別のコスチュームを5日分探すのは、容易ではありませんが、この時期になると冬の終わりを感じます。みなさんも是非ベルギーでの季節のイベントを楽しんでください。

(月担：清島)

広告を募集しております。

掲載ご希望の方は前もって、日本人会事務局へご連絡の上、以下の枠内に編集したPDFファイル（カラー、リンク可）を日本人会事務局（jimukyoku@nihonjinkai.be）へご送付下さい。

Size	Member Price	Non-Member Price
1/4 Page (縦 60 × 横 198 mm)	60 €	170 €
Full Page (A4) (縦 297 x 横 210 mm)	200 €	450 €

原稿締切は原則会報発行月の前月1日です。 詳細は日本人会事務局までお問い合わせ下さい。

会報委員会

会員限定コンテンツ

※ベルギー日本人会にご入会いただければ、会員限定コンテンツもご覧いただけます。

入会のご案内

当会に入会ご希望の場合は、その旨、メールにてご連絡ください。

jimukyoku@nihonjinkai.be

折り返し入会手続きと入会申込書をお送り致します。理事会での審査・承認のため、お申し込みいただいてから、1～2週間程要しますので予めご了承ください。

<会員の種類> (ベルギー日本人会規約 第5条)

1. 正会員：ベルギー所在の日系企業及び団体、日本法人の支店、事務所及び子会社、及びそれらに準ずると認められる企業・団体。
 - ・日本人会の商工委員会に所属し、日本人会の行事に参加頂けます。また、総会での議決権を有します。会報（隔月発行）をお届けします。
2. 賛助会員：本会の目的を支持し、恩恵を受けることを望む個人もしくは法人。
 - ・日本人会の行事に参加出来ますが、総会はオブザーバーとなります。
 - ・会報（隔月）発行のお知らせとパスワードをお届けします。

賛助会員は以下となります。

- 1) 普通会员：正会員に所属するもので正会員により届出られた方。
- 2) 個人会員：ベルギー在住の個人。
- 3) 特別会員：正会員以外の法人もしくは個人
- 4) 名誉会員：在ベルギー日本国大使館、欧州連合日本政府代表部、ブラッセル日本人学校及びその届け出するメンバー、及び理事会により特に名誉会員と認定された方。

ご不明な点がございましたら、事務局までお気軽にお問い合わせください。